

多賀城創建 1300 年記念講演会

『多賀城創建を支えた大崎地方』 開催要項

教育部文化財課

【趣 旨】

令和 6 年（2024 年）は国府多賀城創建 1300 年にあたり、前年度には多賀城関連遺跡である国指定史跡大吉山瓦窯跡（古川小林所在、調査主体：宮城県多賀城跡調査研究所、共催：市教育委員会）の発掘調査が完了している。

今回の企画は、それらを記念し、瓦窯をはじめとした大崎地方の古代遺跡を題材とする講演会を開催することにより、地域の歴史について市民の理解に寄与することや市内に所在する遺跡の価値を知ることを目的とする。また、講演会の開催を広く周知することで、大崎の歴史的魅力の発信を行う。

【講演会名】 多賀城創建 1300 年記念講演会『多賀城創建を支えた大崎地方』

【日 時】 令和 6 年 11 月 24 日（日）開会 13 時 15 分（開場 12 時 45 分）、閉会 15 時 30 分

【会 場】 大崎市図書館（来楽里ホール）多目的ホール

【講演会内容】

神亀元年（西暦 724 年）に創建された国府多賀城の屋根瓦には、大崎平野周縁に位置する瓦窯で大量に生産された瓦が使用されていた。瓦を生産した窯は、松山・三本木地域の下伊場野窯跡、田尻地域の国史跡木戸窯跡、古川地域の国史跡大吉山瓦窯跡がある。

近年、それら瓦窯跡の発掘調査により、窯の構造や生産された瓦の詳細が明らかとなり、瓦窯の年代や変遷も明らかになりつつある。また、市内に所在する遺跡も調査が進み、発見した遺構から多賀城創建以前に造営された役所や倉庫の存在などが明らかとなった。

今回の講演会は、それらの調査成果を踏まえ、多賀城創建にかかわる瓦窯の造営と多賀城創建を支えた大崎地方の様相を解説することにより、多賀城創建にいたる古代社会の流れの一端を考えるものである。

講師：古田 和誠（宮城県多賀城跡調査研究所 副主任研究員）

『多賀城創建期の瓦について～大崎平野の瓦窯群～』

講師：早川 文弥（大崎市教育委員会文化財課 学芸員）

『多賀城創建前夜の大崎平野』

※関連企画：図書館 1 階郷土コーナー展示 多賀城創建期の瓦たち～大崎市の瓦窯跡～

【対 象】 市内外の聴講希望者

【参加費】 無料（定員 1 0 0 名）※事前申し込みが必要

【申込方法】 電話（文化財課 0229 - 23-2214 平日 9 時～17 時受付）、二次元コード受付

※10 月 15 日から受付開始（市ホームページ記載・チラシ配布）

定員に達し次第、受付終了